

11月号 R6.11.1

銚子西中 保健室

11月7日は「立冬」。例年ですと、木枯らしが吹いて木々の葉を落とし、冬の足音が聞こえ始めます。そろそろ冬支度を始める時期ですね。寒くなってくると特に水を使う手洗いや歯磨きなどは、早く終わらせようといい加減になってしまいがちですが、そういう時こそ意識して丁寧に。冬服や暖房器具を準備するだけでなく健康への意識も冬用に切り替えていきましょう。



手洗いは 1,800年前 からの習慣!?

神社にお参りする時、参拝の前に手を洗い、口をすすいだことがある人は多いのではないか。実はこれが今の手洗い・うがいの習慣の始まりとされています。

昔、神社にお参りする際は、近くの川で体を洗い清めてからお参りしていました。

そして日本で最初に疫病が流行り、多くの人が命を落とした西暦250年頃。当時の天皇が神社に手水舎を作り、より効率的に参拝前に手と口を洗い清められるようにしたそうです。それが、次第に食前やトイレ後の手洗いの習慣へと変化しましたと言われています。

約1,800年も前から、手洗い・うがいは感染症予防の習慣として、大切にされてきたんですね。



猫背の人は要注意

勉強している時やスマホを見ている時、猫背になってしまいませんか？ 猫背は肩がこり、頭痛や目の疲れなど、さまざまな不調を引き起こします。

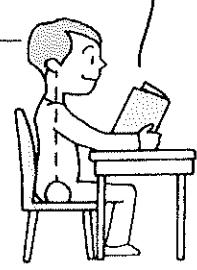
原因は頭を支えられないこと

人の頭の重さは体重の約10%で、体重30kgの人なら約3kg(2升ペットボトル1.5本分)。なかなかの重さです。

正しい姿勢のときは、背骨、首・肩・背中の筋肉でしっかりと頭を支えていますが、頭が前に突き出す猫背では首と肩の筋肉だけで頭を支えなければならないので、肩がこるのであります。

猫背にならない座り方

- 深く腰かけ、骨盤の上に体を乗せるイメージで背筋を伸ばす
- 足の裏を床につけ、足首と膝を90度にする



秋・冬は感染症流行の季節 感染対策できていますか？

今年も風邪、インフルエンザ、新型コロナウイルスなどの病原菌が活発になる時期がやってきました。感染対策の基本をおさらいしましょう。

手洗い 石けんで時間をかけて洗うのがコツ。

湿度を保つ 乾燥するとのどや鼻の粘膜のバリア機能が弱ります。

人混みを避ける 繁華街へのお出かけなどは必要最低限に。

感染対策はみんなのため

インフルエンザや新型コロナなどは、小さな子どもや年配の方、妊婦さんなど、感染すると重症化しやすい人がいます。感染拡大防止は、もういった人たちを守ることにもつながります。うつらない・うつさないを合言葉に、対策を万全にしていきましょう。

換気をしないとどうなる？

テストや受験シーズンが近づく大切な時期になりました。そんなみなさんは教室の換気が重要です。もし換気をしないと汚れた空気が教室に溜まって悪影響があります。

▶ 集中力が低下する

空気中の二酸化炭素の量が増えて、脳が酸素不足になり、集中にくくなります。

▶ 感染症が広がる

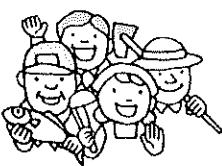
空気中をウイルスが漂い、感染症にかかりやすくなります。

だんだん寒くなってきた窓を開けるのが辛くなってしまった。でも、休み時間には必ず窓を開けるなど、定期的に教室の空気を入れ替えましょう。



「いただきます」「ごちそうさま」

みなさんが毎日食べているごはんには、じつはいろんな人が関わっています。スーパーでは小分けに包装された野菜や、切り分けられたお肉・お魚が並んでいますが、それまでの間に、野菜を育て収穫したり、魚を獲ってさばいたりしてくれた人がいます。そして食卓に並ぶまでの間には、こうした食



材を選び、味付けや栄養を考えながら料理をしてくれた人がいます。

「いただきます」「ごちそうさま」はそういう人たちを含め、食事を準備してくれた人への感謝の気持ちが込められたあいさつ。

11月23日は勤労感謝の日。ごはんの時間には、このことを思い出しながら手を合わせてみてください。



悩みがあったら相談してね～電話相談～

○24時間子供SOSダイヤル（全国共通） ☎0120-0-78310

○千葉県子どもと親のサポートセンター（24時間） ☎0120-415-446

○千葉いのちの電話（24時間） ☎043-227-3900